



2023年3月期 決算説明資料

株式会社要興業（東証スタンダード：6566）

2023年5月31日

- ◆ 会社概要
- ◆ 2023年3月期 連結業績
- ◆ 2023年4月期 連結業績予想
- ◆ 2023年3月期 トピックス

2023年3月期は、
増収・増益となりました。

2023年3月期は、増収増益となりました。

	2022年3月期実績	2023年3月期予想 (2022年11月14日開示)	2023年3月期実績	前年比
売上高	11,934	12,678	13,029	109.2%
営業利益	1,287	1,287	1,739	135.1%
経常利益	1,306	1,306	1,786	136.7%
純利益	873	1,061	1,260	144.3%
EPS	55.00	66.90	79.41	144.3%

※単位(百万円)、EPSのみ単位(円)

会社概要



社名	株式会社要興業 英文表記：KANAME KOGYO CO.,LTD.
本社	東京都豊島区池袋 2丁目14-8 池袋エヌエスビル
代表者	代表取締役会長 藤居秀三 代表取締役社長 木納孝
創業	昭和47（1972）年6月
設立	昭和48（1973）年4月
資本金	8億2773万6875円
収集運搬車両	467台（2023年3月末日時点、連結） 317台（2023年3月末日時点、単体）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">• 収集運搬・処分事業• リサイクル事業• 行政受託事業



株式会社要興業 RECYCLING
 ホーム 会社概要 IR CSR 採用情報 お問い合わせ お問い合わせ

車証スタンダード
 市場上市
 (証券コード: 6566)

50 おかげさまで
 創業50周年

おかげさまで
 株式会社要興業は
 創業50周年を
 迎えました

定期的な廃棄物処理を
 見直したい方へ
 粗大ゴミの処理を
 依頼したい方へ
 機油精油の処理を
 依頼したい方へ
 廃棄物管理の情報が
 知りたい方へ
 要興業のことが
 知りたい方へ

ホーム > 要興業のことが知りたい方へ > 50周年記念

ご挨拶

当社が創業50周年を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
 今日までご支授いただきましたお客様、お取引先様、行政機関の皆様、従業員の皆様、株主に、あらためて厚く御礼申し上げます。

昭和40年代当時、日本は大量生産・大量消費の時代でした。環境関連は法整備が行き届いておらず、日本中がゴミで溢れていました。やがて廃棄物関連の法が整備され、産業廃棄物、一般廃棄物の許認可制度ができ、事業系廃棄物の処理は民間業者に委託されるようになります。そんな折に、私が東京都豊島区要町の自宅から、中古トラック1台、従業員2名で廃棄物処理業を起業しました。これが株式会社要興業の始まりです。しばらくして、兄弟4名が集まり、それぞれ営業、業務、事務を分担して運営するようになります。やがて廃棄物処理とリサイクルが社会全体の重要なテーマになっていき、循環型社会を形成する方向へと国策が変化していきます。

パブル期の終わり頃より、当社は時代に合わせ、リサイクル工場に力を入れていきます。平成4年には、ビン・缶等の飲料容器

代表取締役会長 藤野 秀三

社会の出来事	
2月	廃棄物処理法 公布
月	札幌オリンピック開催
0月	第一次オイルショック
月	成田国際空港開港
月	第二次オイルショック

1980	昭和55年	3月	東京都豊島区高松へ本社移転。資本金900万円に増資。
 創業期の車両基地です			
 車両はこのタイプが主流でした			
 当時より足立区が拠点でした			

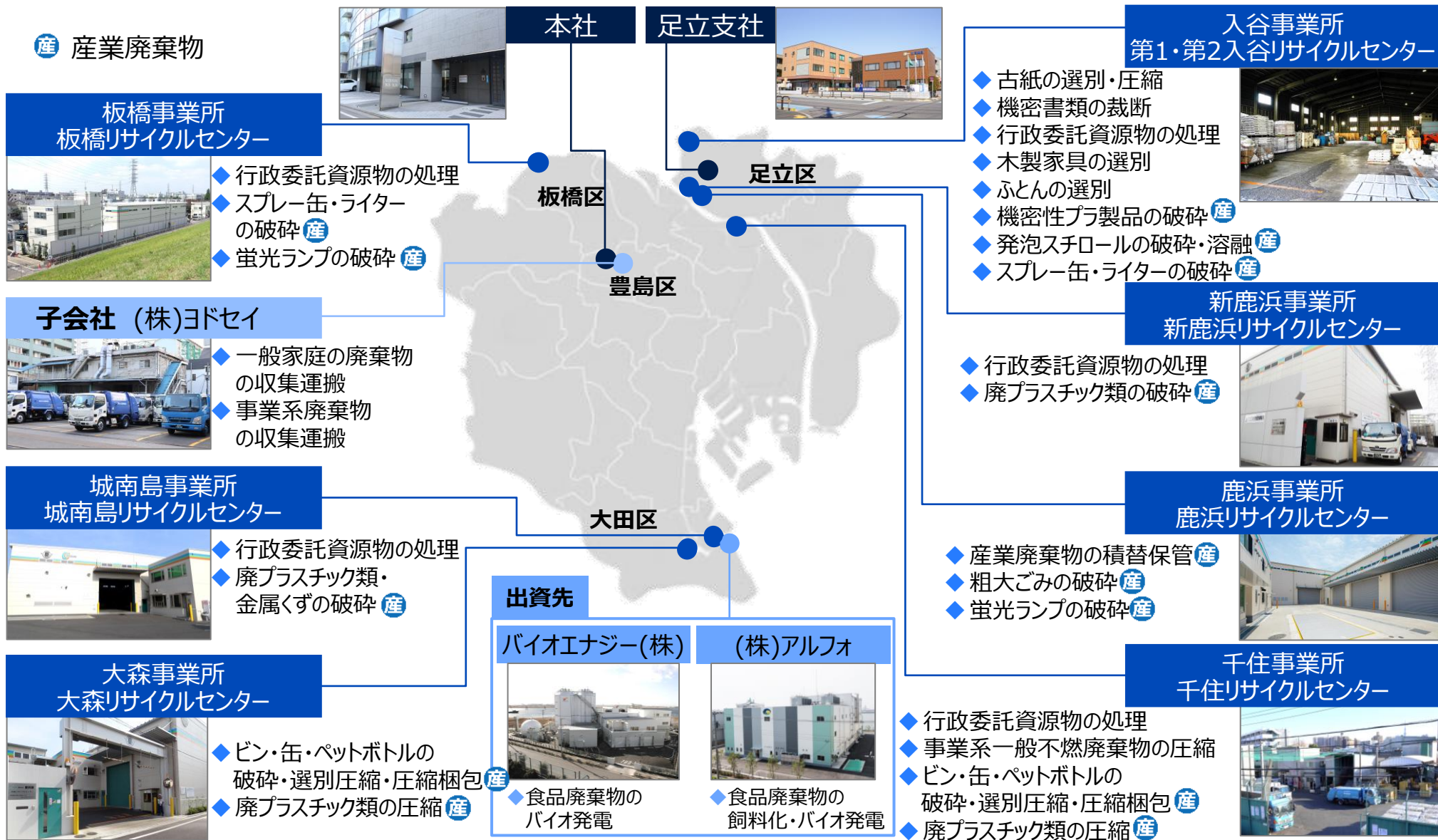
経営理念

環境保全と循環型社会に貢献する企業であること

経営方針

- ◆ 快適な都市生活と資源の循環を推進するため
適正な廃棄物処理と資源リサイクルを業とします
- ◆ お客様から信頼される質の高いサービスを提供します
- ◆ 関係する行政、企業、地域との共生を図ります
- ◆ 持続発展をめざし、株主と社員を大切にします

本社、支社、リサイクルセンター、グループ会社、出資先の事業所、合わせて13拠点

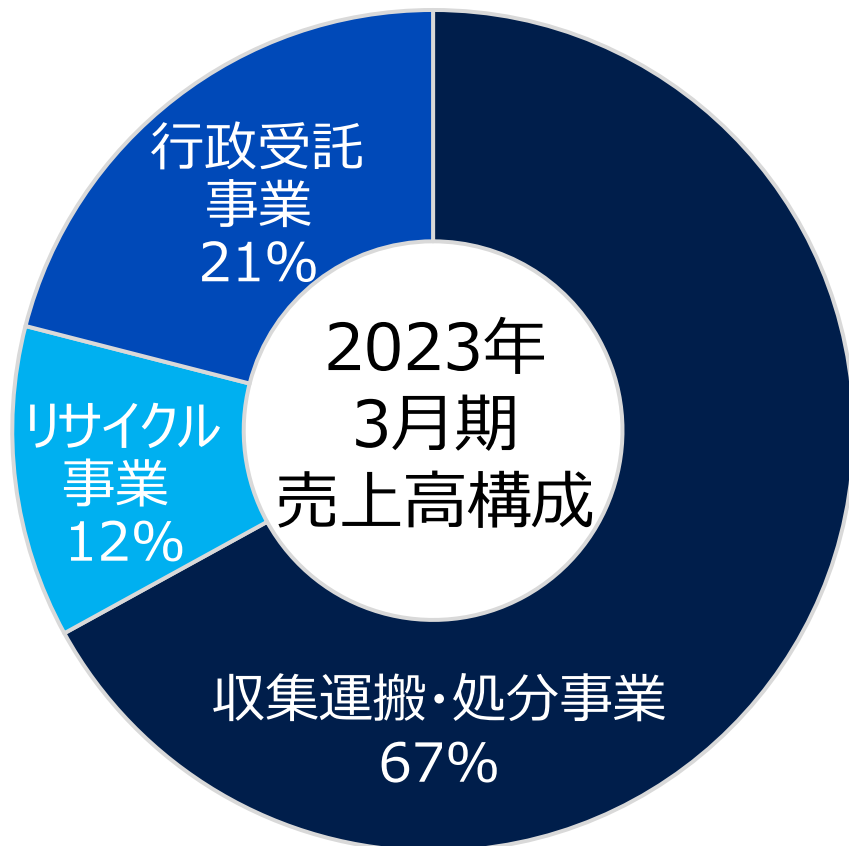


2023年3月期 連結業績



廃棄物の収集運搬・処分に対する**フィー収入**に加え、リサイクル事業での**販売収入**を計上





収集運搬・処分事業

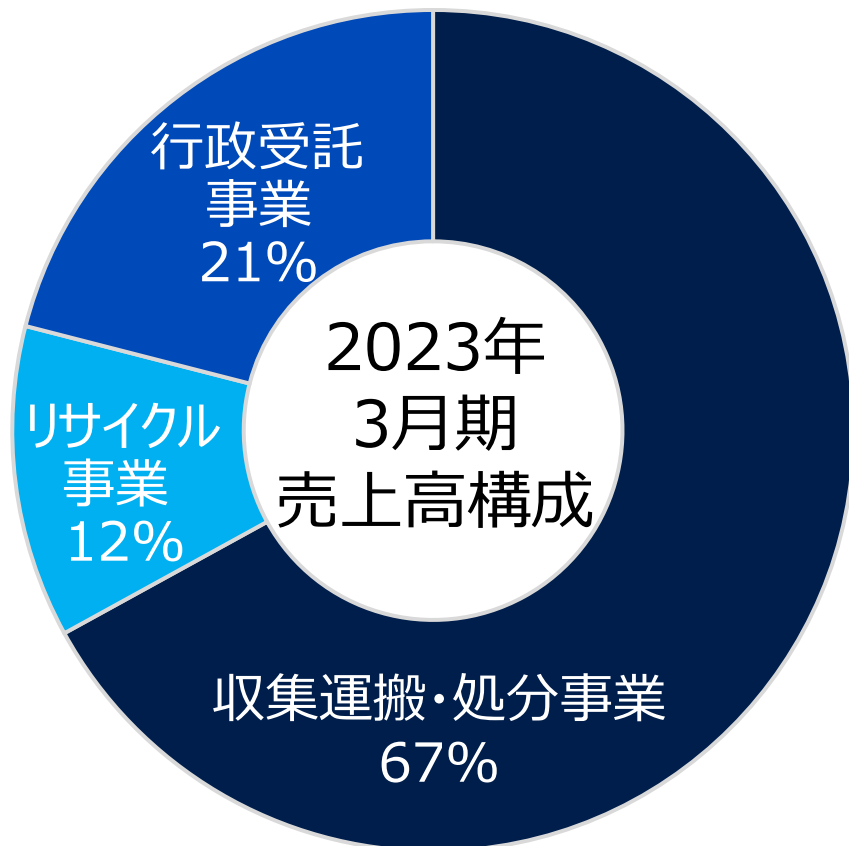
67%

リサイクル事業

12%

行政受託事業

21%



収集運搬・処分事業

67%

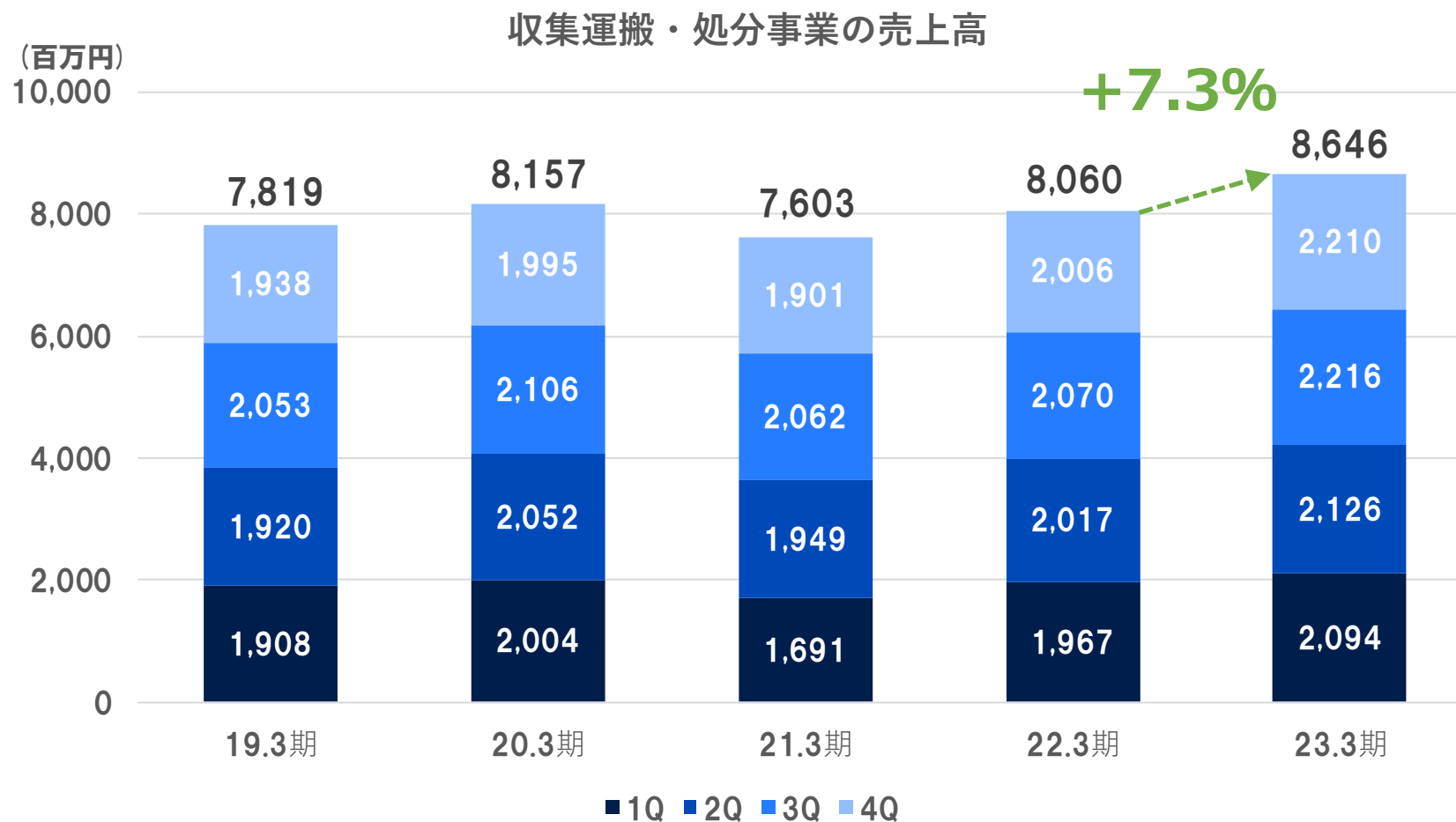
リサイクル事業

12%

行政受託事業

21%

- 収集運搬・処分事業の売上は86億4600万円と前年比7.3%の増収となりました。
- 顧客ニーズに合致する営業活動の継続により顧客数は順調に拡大しております。



収集運搬車両台数は467台（2023年3月末日時点、連結。単体で317台）

- 一般廃棄物収集運搬車（可燃・不燃・食品廃棄物）



- 感染性廃棄物運搬車



- 産業廃棄物収集運搬車（ビン・缶・ペットボトル・廃プラスチック類）



- 機密書類収集運搬車（機密書類・機密媒体）



- 粗大・古紙収集運搬車（粗大・古紙等）



- 計量車両



リサイクルセンター・出資先の事業所、合わせて9拠点と、

東京二十三区清掃一部事務組合が運営する清掃工場

東京二十三区清掃一部事務組合
が運営する清掃工場

第1・第2入谷事業所
第1・第2入谷リサイクルセンター



- ◆ 古紙の選別・圧縮
- ◆ 機密書類の裁断
- ◆ 機密性プラ製品の破砕
- ◆ 発泡スチロールの破砕・溶融

城南島事業所
城南島リサイクルセンター



- ◆ 廃プラスチック類・
金属くずの破砕

大森事業所
大森リサイクルセンター



- ◆ ビン・缶・ペットボトルの
破砕・選別圧縮・圧縮梱包
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮

出資先 ◆ 食品廃棄物

バイオエナジー(株)



(株)アルフォ



足立区

板橋区

豊島区

大田区

新鹿浜事業所
新鹿浜リサイクルセンター



- ◆ 廃プラスチック類の破砕

鹿浜事業所
鹿浜リサイクルセンター



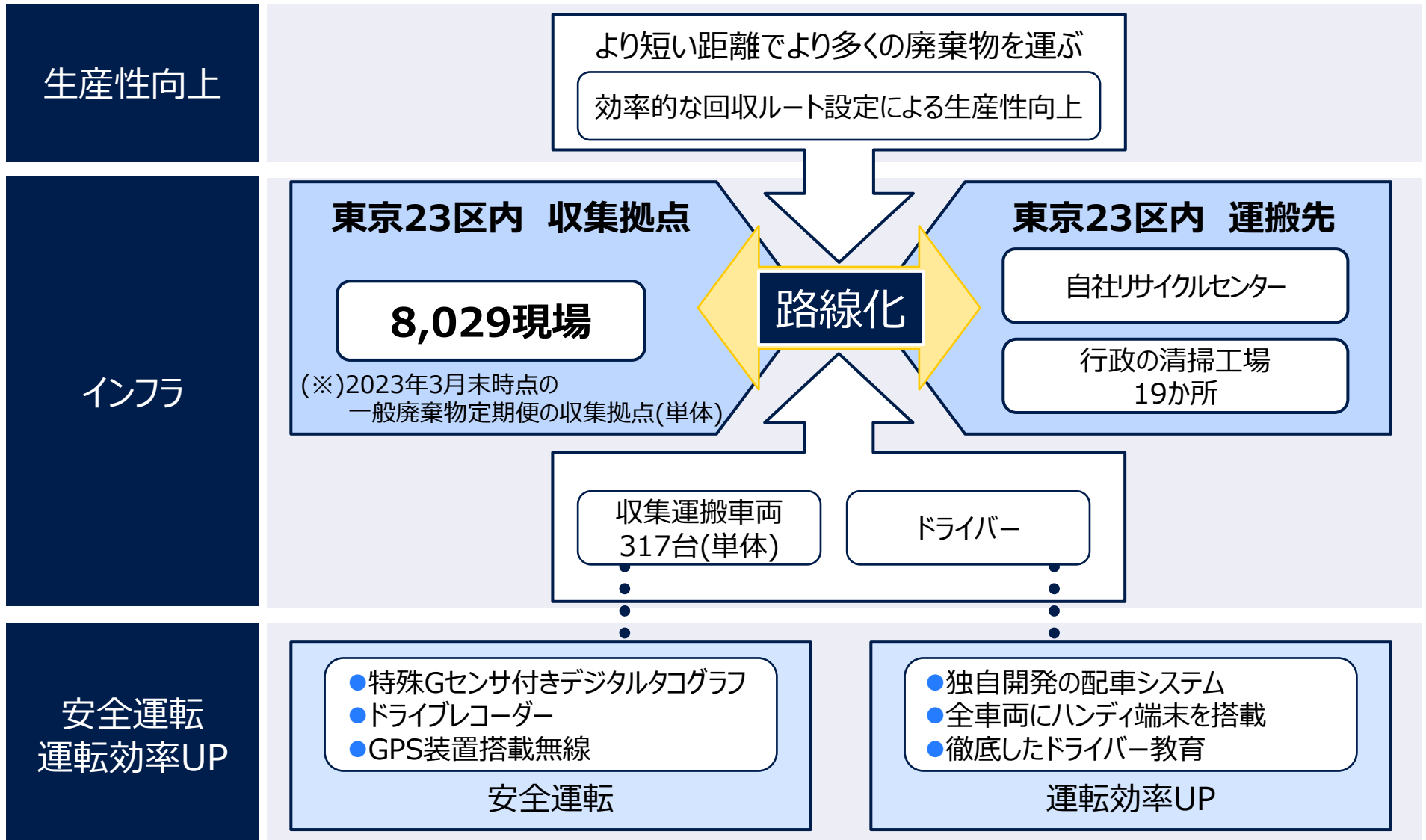
- ◆ 産業廃棄物の積替保管
- ◆ 粗大ごみの破砕
- ◆ 蛍光ランプの破砕

千住事業所
千住リサイクルセンター



- ◆ ビン・缶・ペットボトルの
破砕・選別圧縮・圧縮梱包
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮

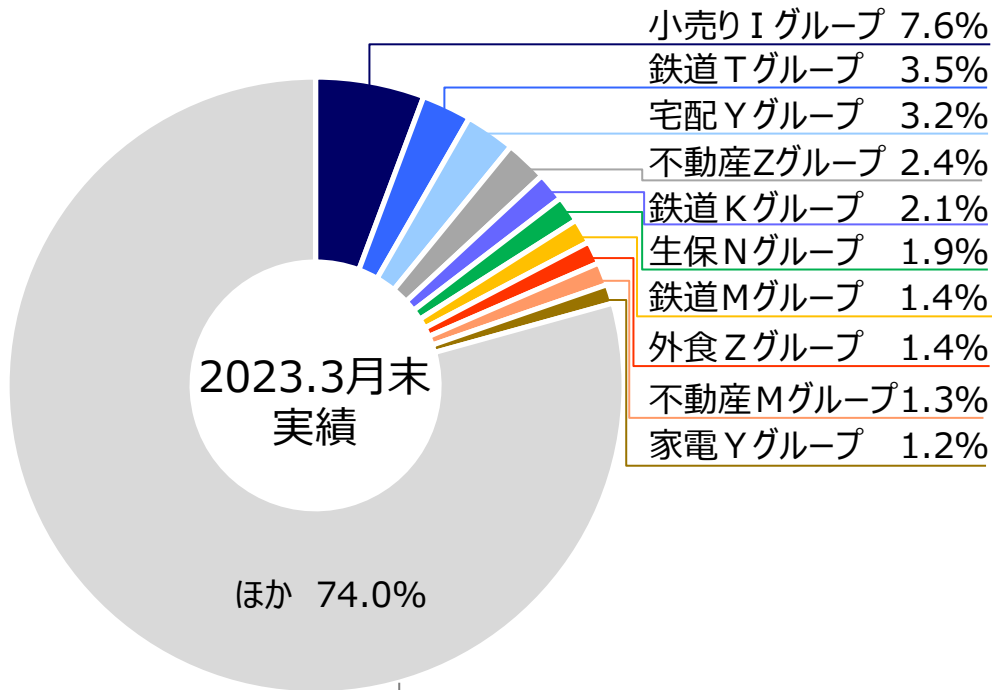
東京23区内の**路線化**により、効率的な収益基盤と圧倒的な競争優位性を確立



業界唯一の**コンサルティング**営業と随一の**コンプライアンス**体制
 コンプライアンス意識の高い大手企業から**選ばれる**存在

顧客別売上高構成比 (%)

ビルメンテ、ビルオーナー、店舗、メーカー、
 一般企業、など**3,579社**が顧客 (単体)



流通、小売り、鉄道、商社、運輸、飲料、不動産、通信、銀行、
 証券、マスコミ、電機メーカー、自動車メーカー、病院、大学など
 あらゆる業種、事業者

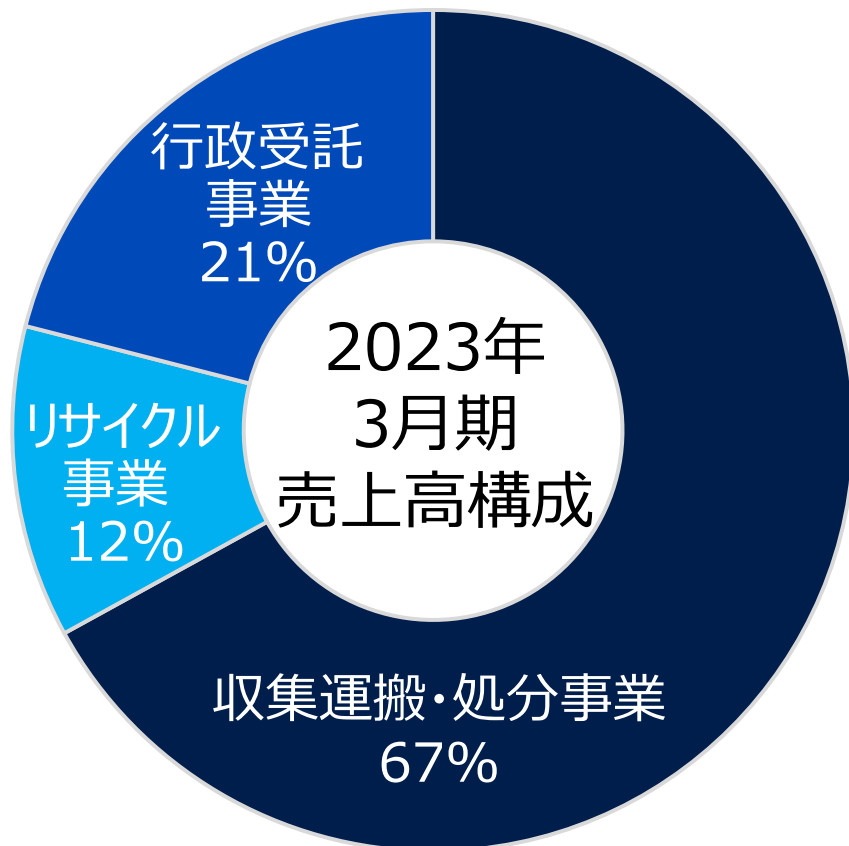
業界随一のコンプライアンス体制

- ◆ 自社開発ソフトによる電子マニフェスト管理
- ◆ 廃棄物処理法に関する勉強会
- ◆ 安全運転に関する指導
- ◆ 労務管理に関する勉強会

継続的な施策の実施
 社会的信頼を得る努力

業界唯一のコンサルティング営業

- ◆ 効率的な運用体制の指南
- ◆ 計量フローの確立
- ◆ 啓蒙活動(セミナーの開催、小冊子発行など)
- ◆ 臭気、衛生対策 など



収集運搬・処分事業

67%

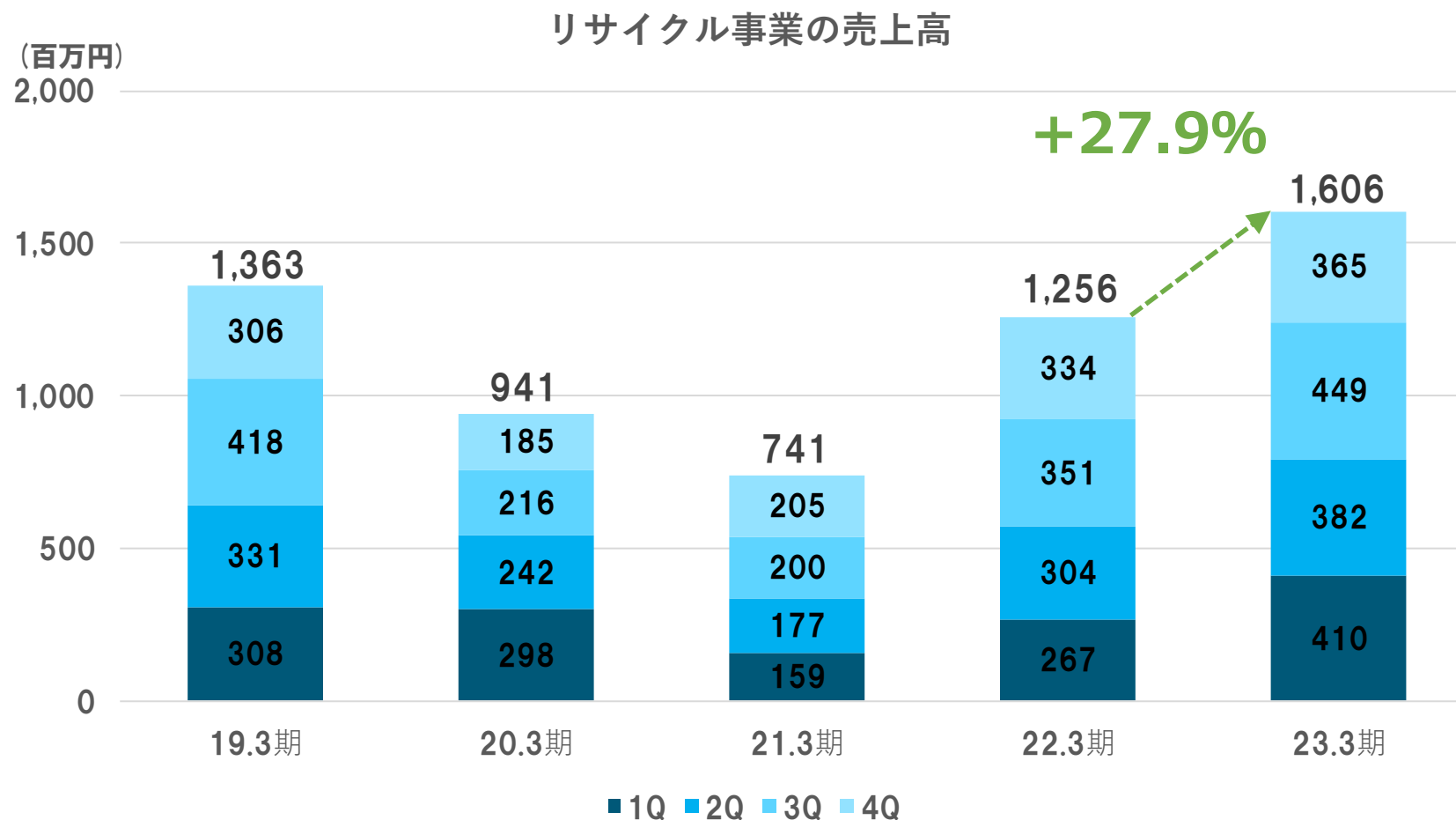
リサイクル事業

12%

行政受託事業

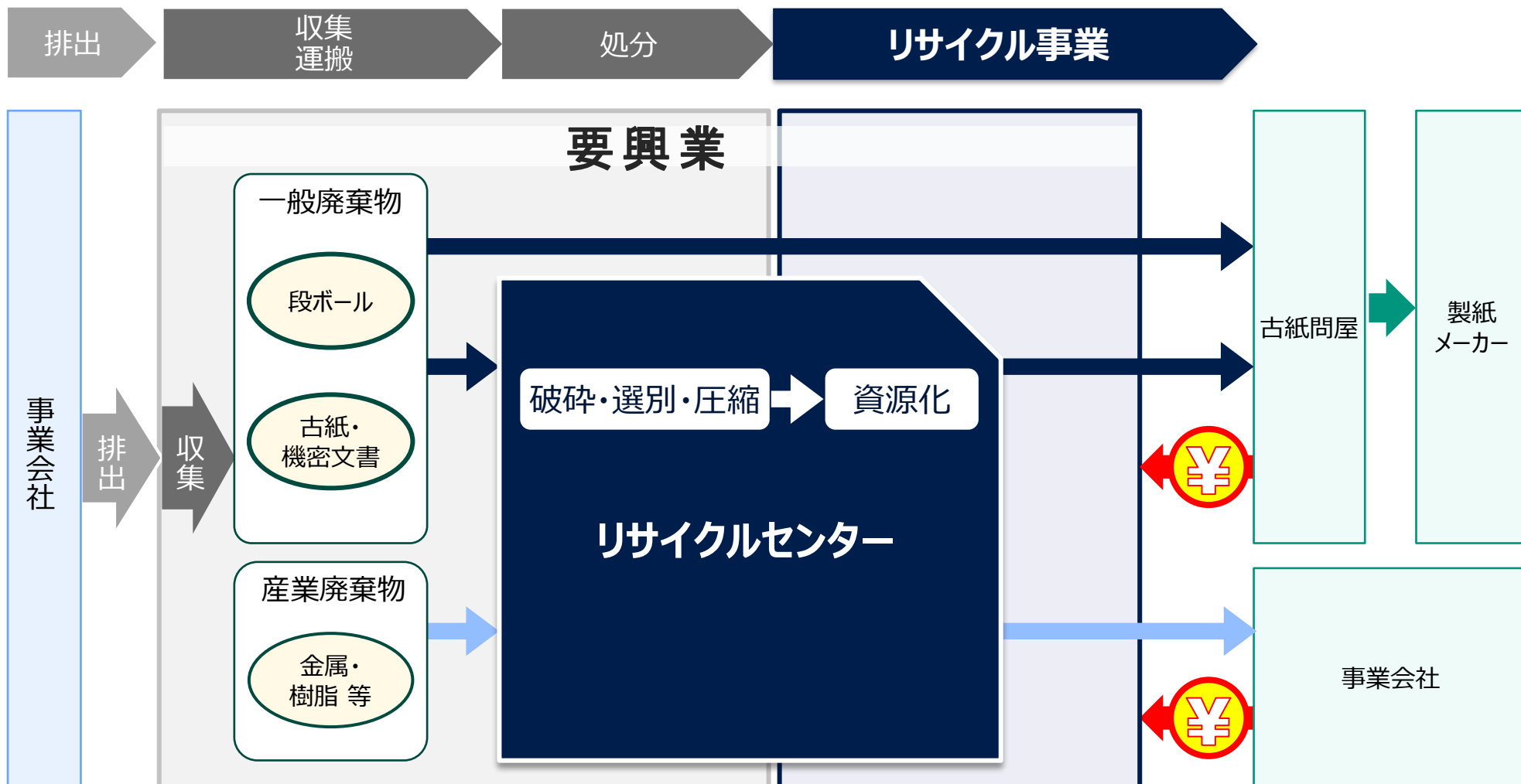
21%

- 資源相場が上昇したこと等により、リサイクル事業の売上は16億600万円と前年同期比27.9%の大幅増収となりました。



リサイクル事業の概況

収集運搬した廃棄物を加工し、リサイクル（再資源化）して**販売**する事業



23区内の自社リサイクルセンター・アライアンス先で再資源化



古紙ベール



発泡スチロールインゴット



段ボールベール



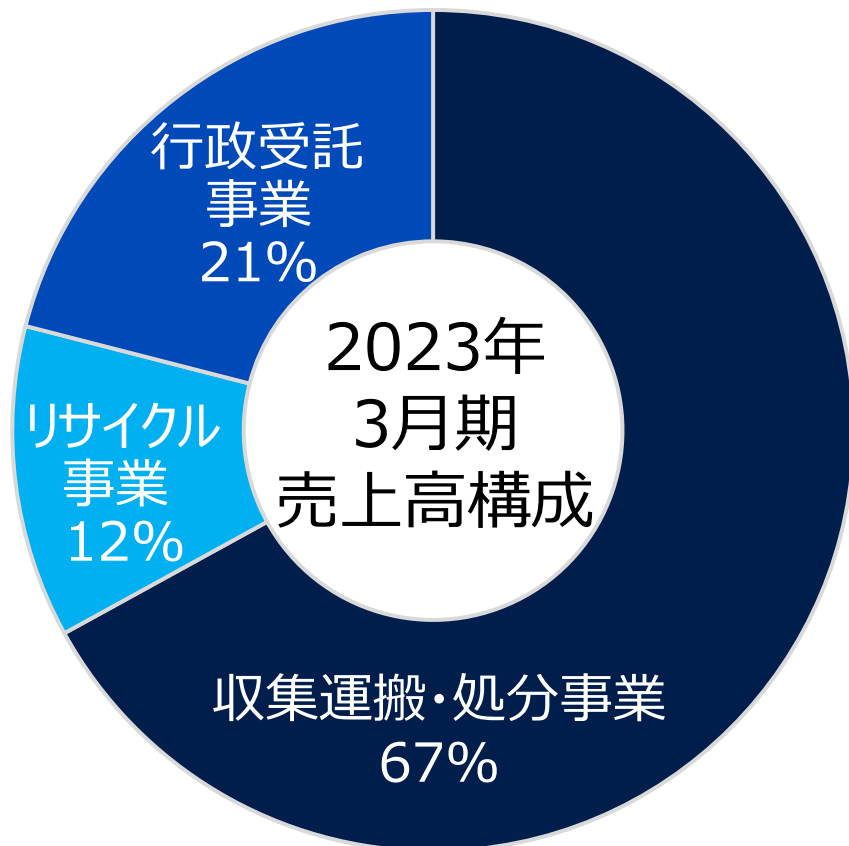
アルミ缶プレス



PETベール



スチール缶プレス



収集運搬・処分事業

67%

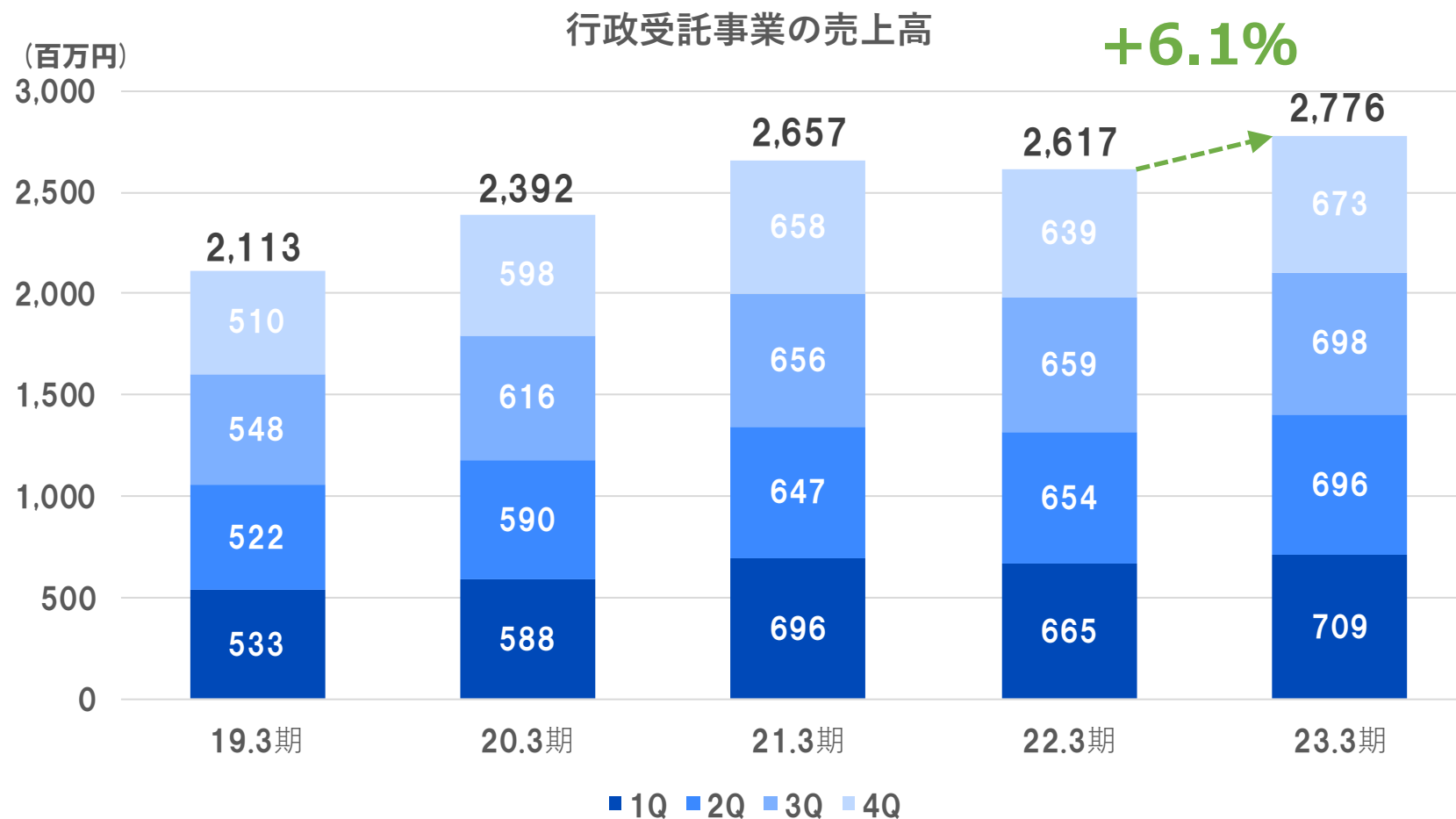
リサイクル事業

12%

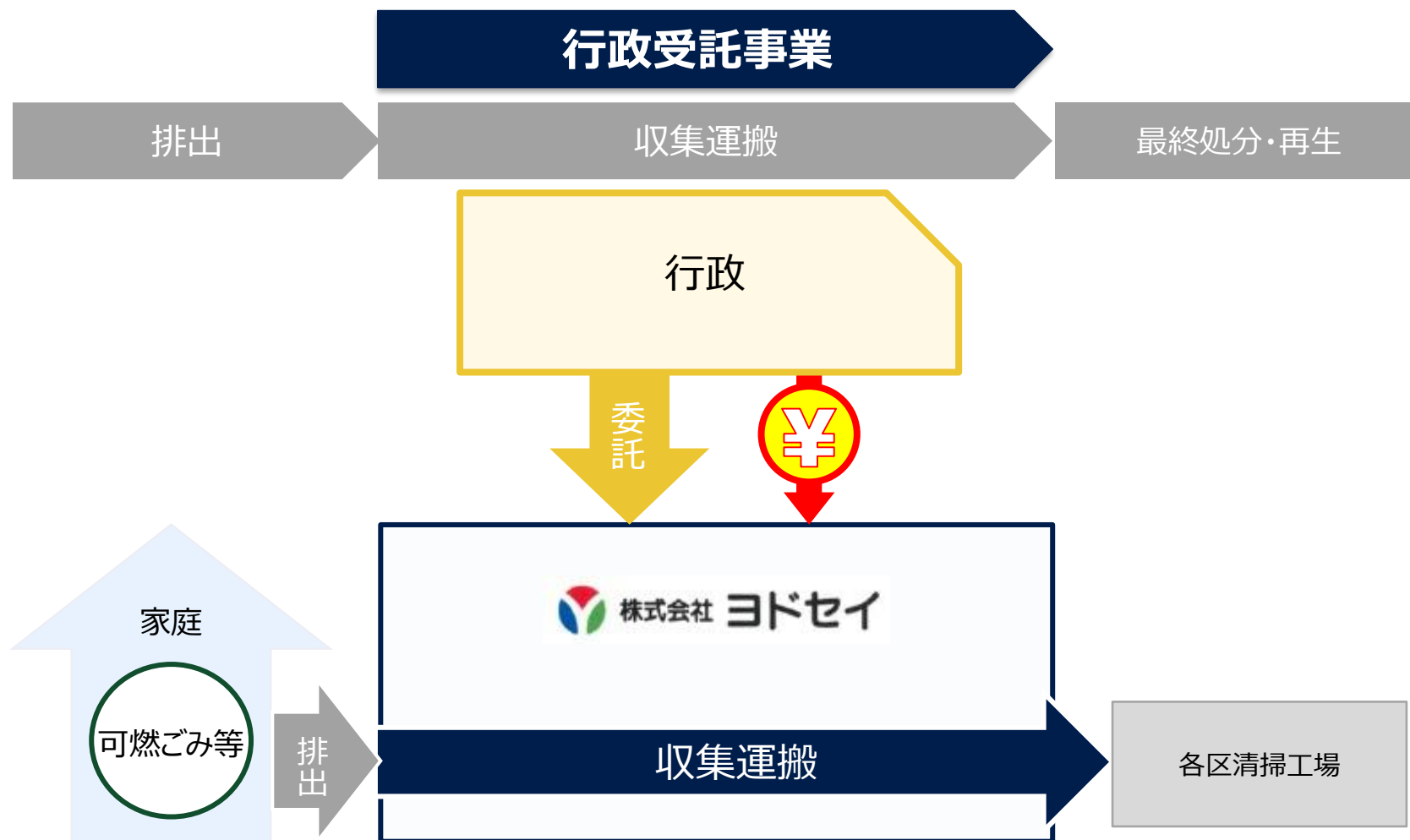
行政受託事業

21%

- 行政受託事業の売上は27億7600万円と前年同期比6.3%の増収となりました。



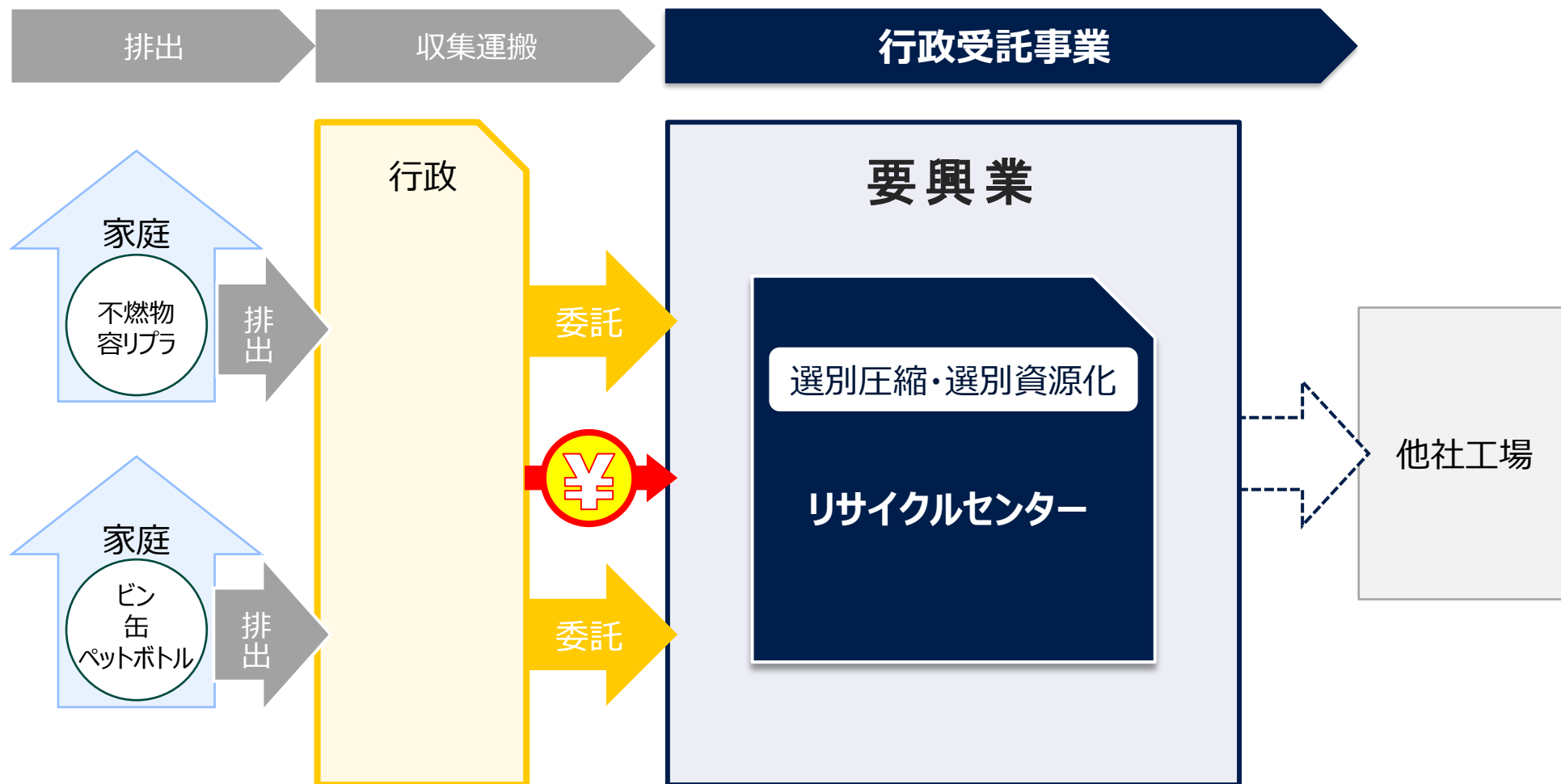
家庭ごみを収集し、行政区の清掃工場へ運搬



23区内の家庭ごみを収集する車両

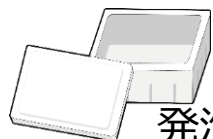


リサイクルセンターに**家庭ごみ**を受け入れて、**リサイクル（再資源化）**を行う



要興業のリサイクルセンターで扱う資源物は、このようなものとなります。

燃やさないモノ



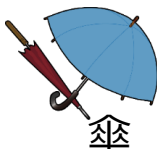
発泡スチロール



廃プラスチック類



スプレー缶



傘



ガラス・陶磁器



鉄製調理器具



丸電球

資源



PET



缶類

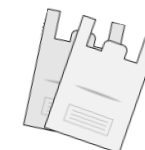


びん

容器包装プラスチック(プラマーク)



綺麗なプラスチック



レジ袋

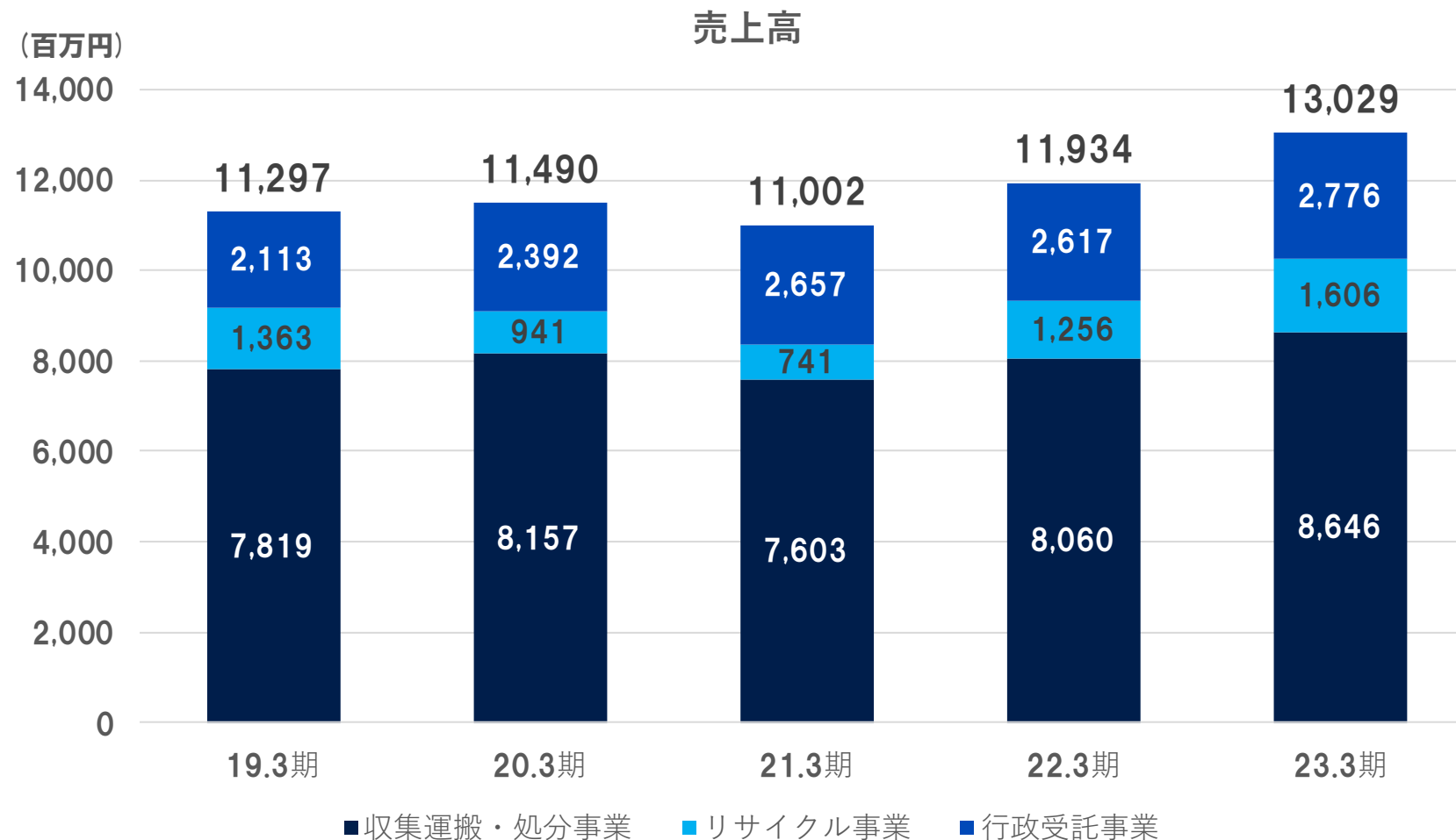


容器類

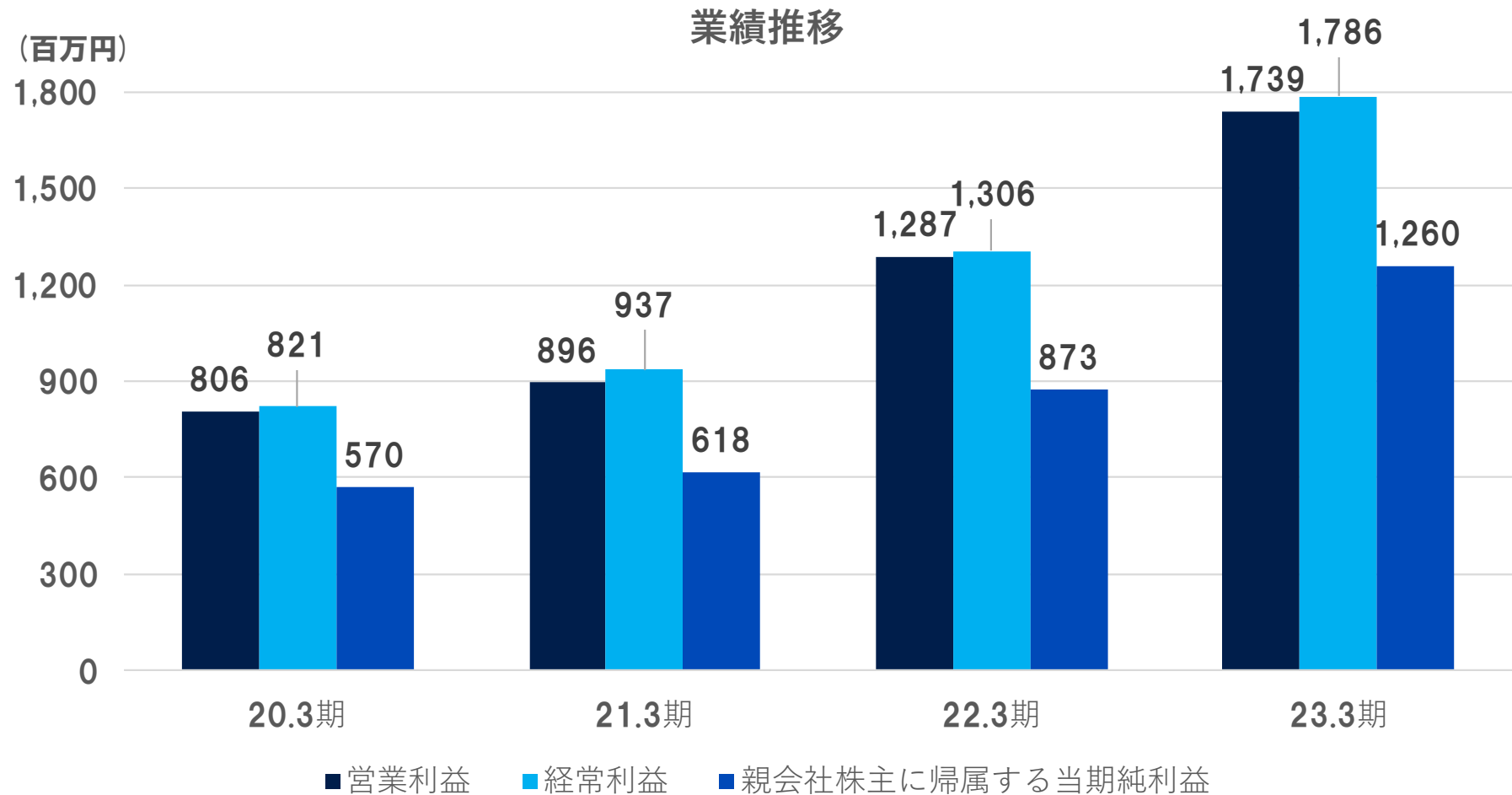
リサイクルセンターでカテゴリー毎に選別し、アライアンス先へ搬出する不燃物資源化事業



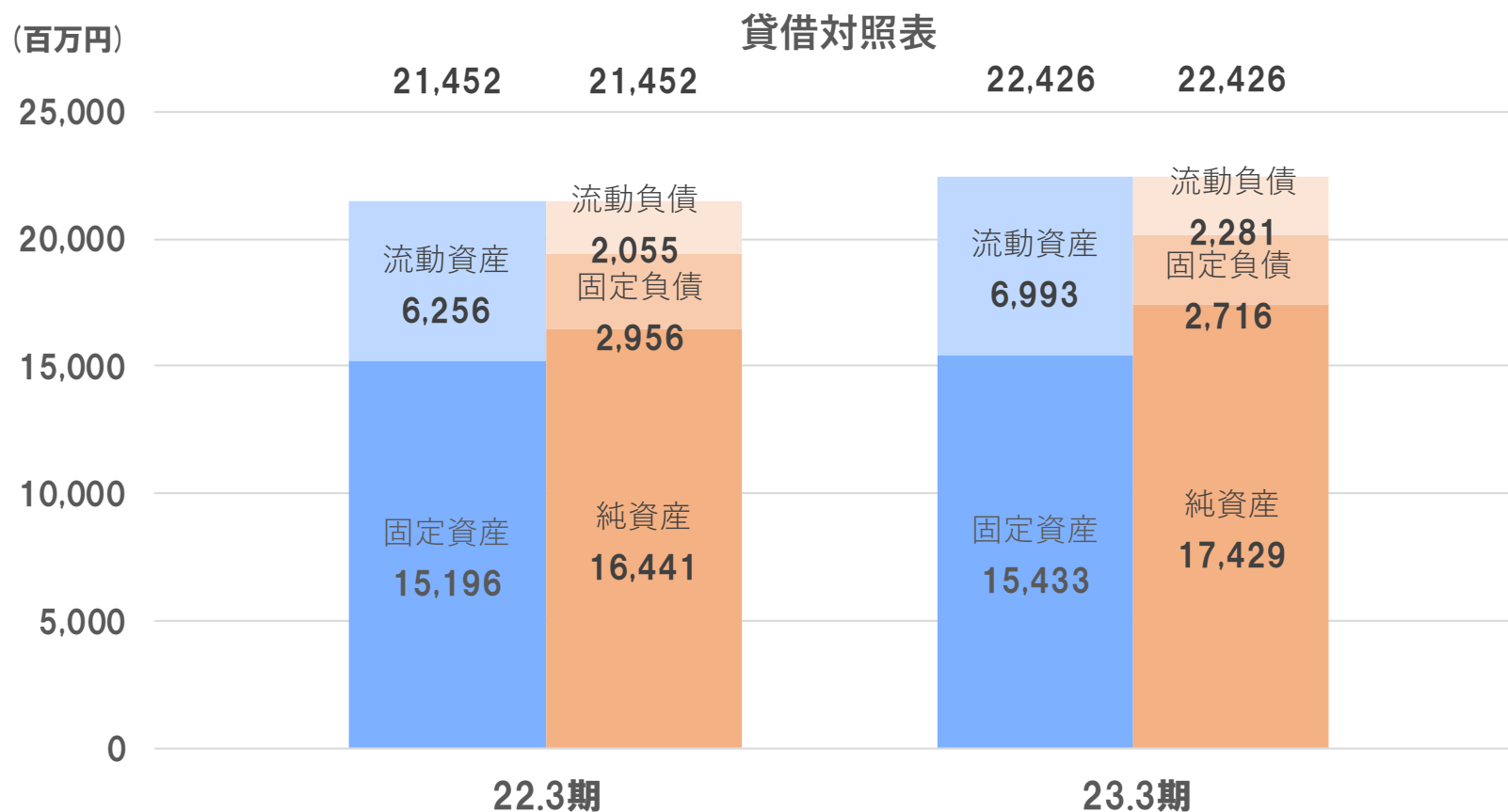
- 売上高は順調に拡大しております。
- 2022年3月期と比べると9.2%、2021年3月期と比べると18.4%という大幅な増収となりました。



- 前年同期と比べ、大幅な増益となりました。
- 営業利益は前年同期比+35.1%の増益、経常利益は同+36.7%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は同+44.4%の増益となりました。



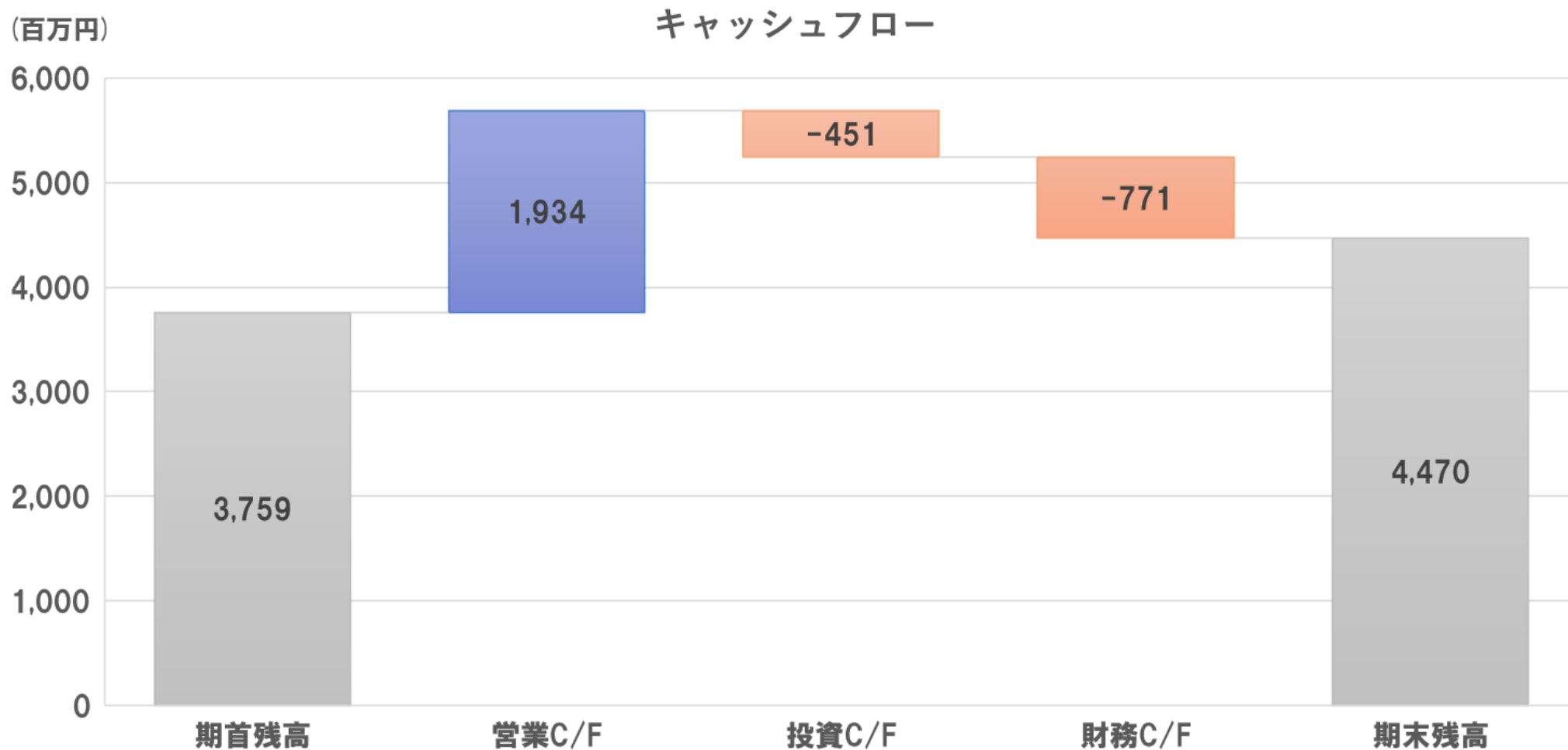
- 流動資産、固定資産ともに増加しました。
- 流動負債は増加し、固定負債は減少、純資産は増加しました。
- 自己資本比率は77.7%となりました。



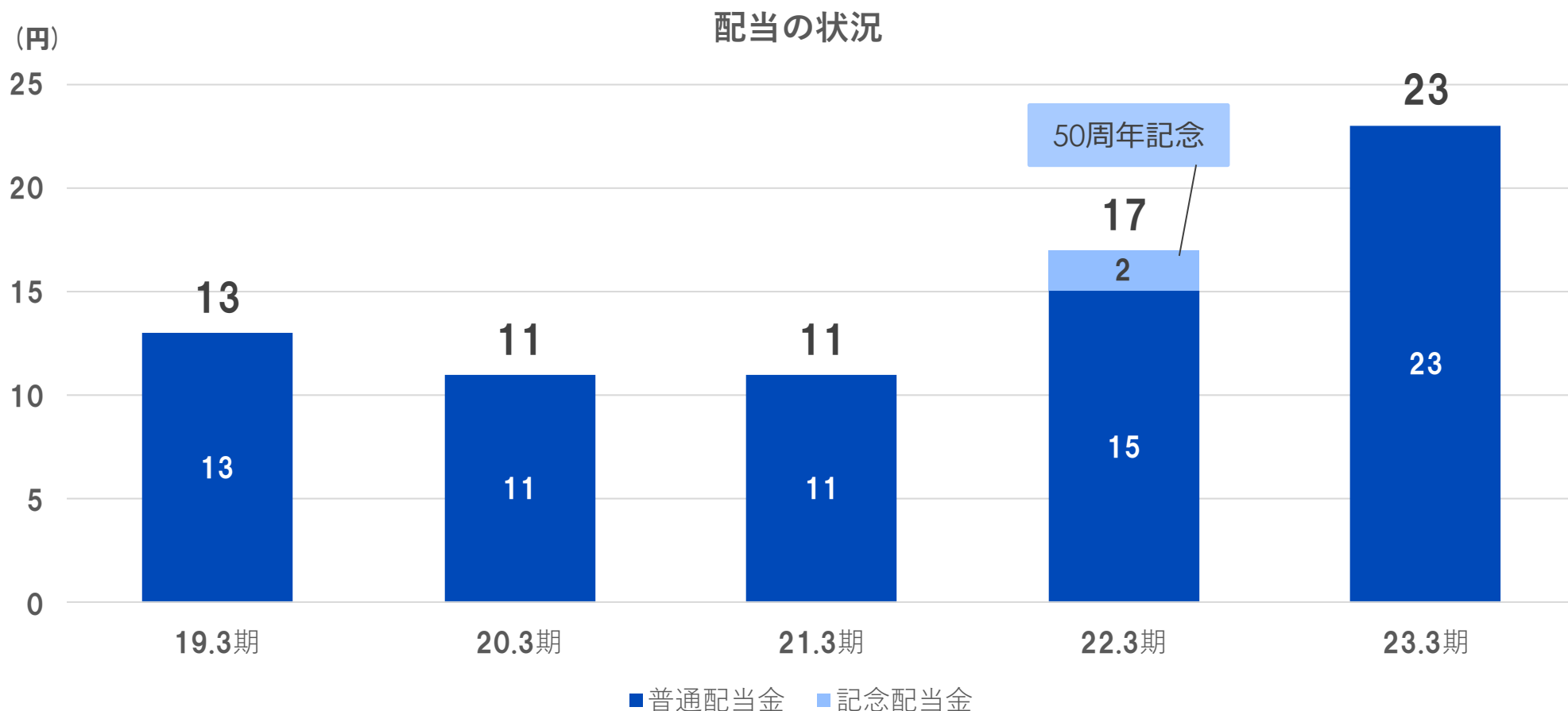
キャッシュフロー（2023年3月期）



- 現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度の期末残高に比べ、7億1100万増加し、44億7000万円となりました。



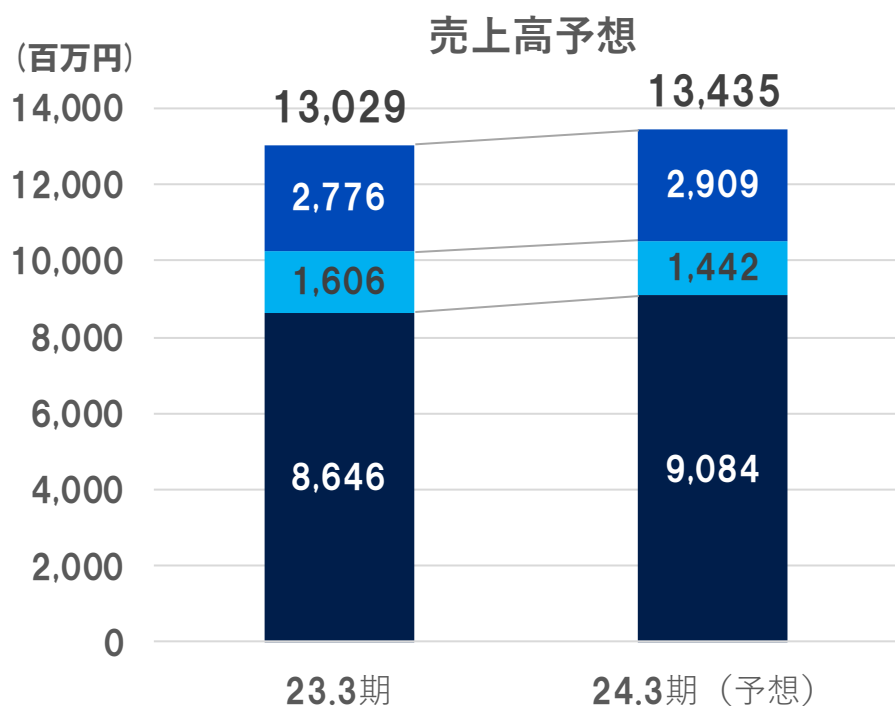
- 株主様への利益還元の一つの施策である配当に関しては、上場当初より配当性向30%水準を目安としております。2023年3月期につきましては、株主の皆様にお応えするため、6円増配となる23円の配当とさせていただきました。



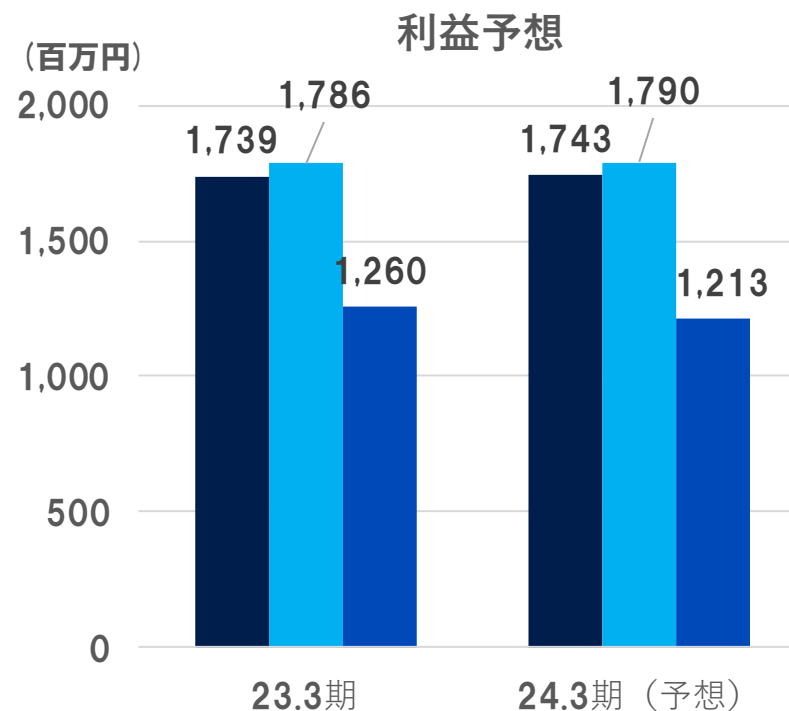
2024年3月期 連結業績予想



- 売上高は134億3500万円と、前期対比3.1%の増加を予想しております。
- 営業利益は前期比0.2%増の17億4300万円、経常利益は同0.2%増の17億9000万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3.7%減の12億1300万円を予想しております。



■ 収集運搬・処分事業 ■ リサイクル事業
■ 行政受託事業



■ 営業利益
■ 経常利益
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年12月に発表した中期経営計画の進捗状況



(百万円)		中期3か年計画								
		22.3期	23.3期			24.3期			25.3期	
		実績	計画値 (2023年 11月14日 開示)	実績	前期比	当初計画値 (2022年 12月26日 開示)	修正計画値 (2023年 5月15日 開示)	前期比	計画値	前期比
主力事業の強化	売上	11,934	12,678	13,029	+9.2pt	13,099	13,435	+3.1pt	現在見直し中	
	営業利益	1,287	1,526	1,739	+35.1pt	1,596	1,743	+0.2pt		
	営業利益率	10.8%	12.0%	13.3%		12.2%	13.0%			
	経常利益	1,306	1,571	1,786	+36.8pt	1,617	1,790	+0.2pt		
	経常利益率	10.9%	12.4%	13.7%		12.3%	13.3%			
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	873	1,061	1,260	+44.3pt	1,091	1,213	▲3.7pt		
	当期純利益率	7.3%	8.4%	9.7%		8.3%	9.0%			
	自己資本	16,441	17,241	17,429	+6.0pt					
	ROE	5.3%	6.2%	7.4%						

※百万以下切り捨て、パーセンテージは四捨五入

2023年3月期 トピックス



【鹿浜リサイクルセンターは順調に稼働】

全景



破碎前



破碎後



【防災訓練を実施】



【東京都産業廃棄物処分業許可・優良産廃処理業者認定を更新】

様式第九号の二 (第十条の六関係) 令和 5年 3月 24日 4農産業第1562号
 許可番号 第13-20-002721号

産業廃棄物処分業許可証 (写)

住所 東京都豊島区池袋二丁目14番8号池袋エヌエスビル
 氏名 株式会社要興業
 代表取締役 木納 孝

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第14条第6項 の許可を受けた者であることを証する。

東京都知事 **小池百合子**

許可の年月日 令和 4年12月24日
 許可の有効年月日 令和11年12月23日

1 事業の範囲
 (1) 業の区分: 処分 (中間処理)
 (2) 処分の方法及び取扱う産業廃棄物の種類 (処分に係る限度は2ページ目以降)
 ア 破砕 : 廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (水銀使用製品産業廃棄物を含む。) (以上4種類)
 イ 選別圧縮 : 金属くず (空缶に限る。) (以上1種類)
 ウ 圧縮梱包 : 廃プラスチック類 (以上1種類)
 エ 破砕・溶融 : 廃プラスチック類 (発泡スチロールに限る。) (以上1種類)

2 事業の用に供する施設 (施設詳細は2ページ目以降)
 (1) 東京都足立区千住桜木二丁目18番11号
 (2) 東京都足立区入谷九丁目16番19号
 (3) 東京都大田区大森南四丁目10番6号
 (4) 東京都足立区堀之内一丁目14番15号
 (5) 東京都足立区入谷九丁目28番20号
 (6) 東京都足立区鹿浜一丁目4番8号
 (7) 東京都大田区城南島二丁目8番1号
 (8) 東京都板橋区新河岸二丁目20番18号

3 許可の条件
 (1) 作業時間は、原則として8時から17時までとし、機器の稼働時間は8時間以内とすること。
 (2) 「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及びその他の関係法令を遵守すること。
 (3) 中間処理は都の承認を得た方法により行うこと。

4 許可の更新・変更の状況
 平成 5年 12月 24日 新規許可
 令和 4年 12月 24日 更新許可 第5回

5 規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無 無

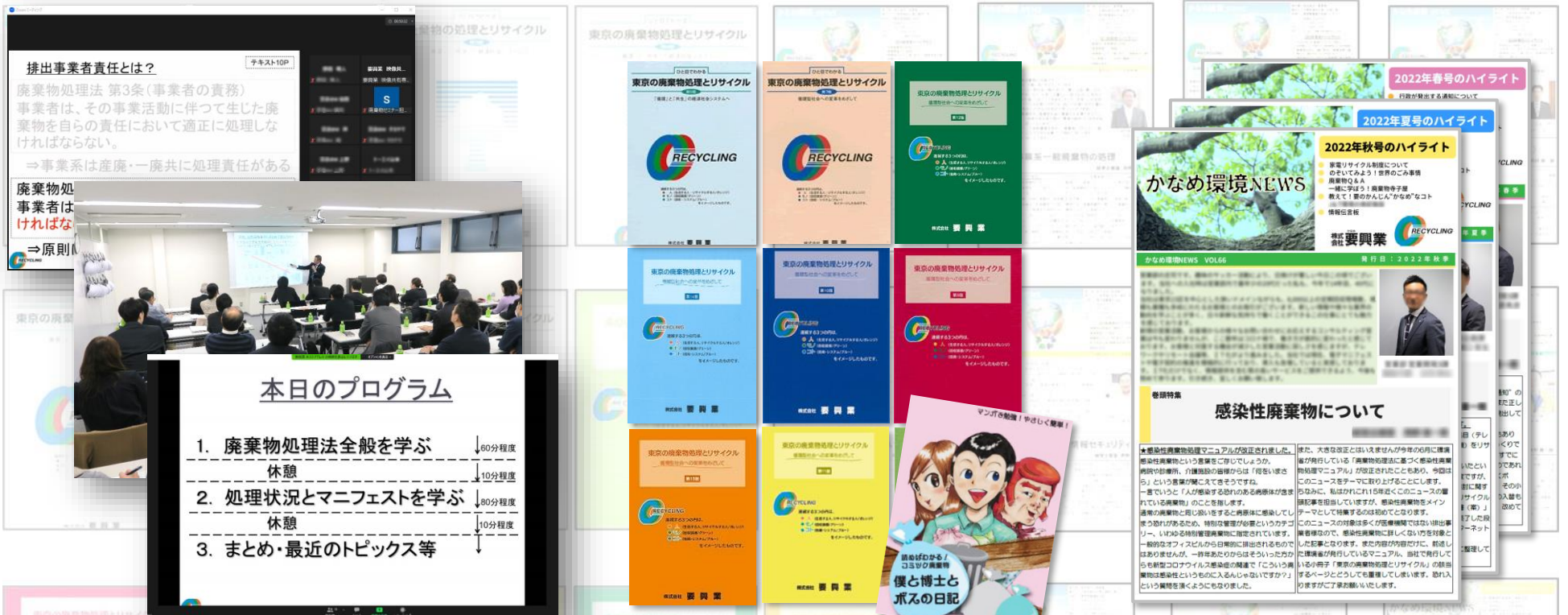
(1/3)

都認定番号: 5-20-C0043
 産廃エキスパート

このマークは東京都の優良認定事業者のマークです。

東京都

【廃棄物処理法の啓発活動を行っています】



廃棄物セミナー

お客様に向けて、定期的
に開催しているセミナー

小冊子やコミック

環境関連法をコンパクトに
まとめた冊子やコミック

かなめ環境ニュース

環境関連のニュースを発信
している季刊誌

本説明および資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、資料作成時点において当社が入手している情報から判断した仮定・所信に基づく見込みです。経済動向などに関わるリスクや不確実性を含んでいますので、当社がその実現をお約束する趣旨のものではございません。実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。